

科目名	地域プロジェクト演習				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2022年度 後期	単位数	2		
担当教員	井波 純、平澤 賢一、高橋 延昌、横尾 誠、中澤 真、柴崎 恭秀、大橋 良生、八木橋 彰、北本 雅久、沈 得正、木谷 耕平				
内容および計画	<p>この授業科目は、本学の地域活性化センターや教員が参加するプロジェクト、研究会等に学生達が直接参加・登録し、実社会のフィールドの中で直接学ぶものであり、学生参画型実学・実践教育を推進するものである。実社会のフィールドに学生が直接参加することは、地域社会に根ざした問題発見力、問題解決に対する行動力、問題解決に対する創造的展開力、地域住民や関係者との合意形成をはじめとするコミュニケーション力、実社会の現場を直視しながら社会の仕組みに対する理解力など、様々な能力を磨くものであり、社会に対する問題意識、専門性や自己実現に対する意識改革について大きく涵養するものとする。また、同時に社会への積極的な参画を通じて社会及び地域への貢献を推進するものでもある。</p> <p>授業の開講は、プロジェクトや研究会等の性格上、正規の時間割に組み込むことが困難なため、時間割外で開講することを原則とする。授業内容については、ガイダンス等（前期又は後期のガイダンス時、前期期間の適当な日時）で授業担当教員より、具体的な授業計画、授業の到達目標、評価方法、開講時期・時間など一連のシラバスに該当する内容を公表し、説明会を適宜実施する。ただし、事業の採択状況により適切なプロジェクト等が見当たらない場合は開講しない。</p>				
1	プロジェクトや研究会等で実施するテーマに基づき授業計画を公表する。				
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
授業担当教員から適宜指示する。					
参考書	授業担当教員から適宜指示する。				
成績評価					
	評価方法			割合(%)	

評価は授業担当教員が行うので、評価方法は授業担当者がガイダンス及び説明会等で説明する。	
学習到達目標	プロジェクトや研究会等で実施するテーマによって、それぞれ異なる。
先修条件	
実務経験	
その他	この授業科目は、教員が担当するプロジェクト等の開催時期により、ある教員が前期に開講した後、別の教員が後期に開講する事も想定されるが、複数の地域プロジェクト演習に参加した場合も修得単位数は2単位とする。